

令和2年度川崎市地域自立支援協議会地域移行・地域定着支援専門部会 実施報告書

<p>課題 ※部会 設置 の理由</p>	<p>(活動目的) 長期にわたり入院している精神障害者の地域生活への移行支援および定着支援の体制を充実させる。</p> <p>① 医療・福祉関係機関との支援方法の共有化 ② ピアサポーターとの共同による地域移行支援 ③ 地域移行支援のモニタリング体制 ④ 地域移行支援の見える化</p> <p>・ 支援対象者の把握                      ・ 地域状況の理解</p>
<p>目標</p>	<p>長期目標 (平成30年度から令和2年度) 支援のすそ野を広げよう! 短期目標 (令和2年度)</p> <p>① 地域移行・地域定着支援の拡充 ～顔の見える関係づくり～ ② 人材育成 (研修会及び事例検討会、バックアップ体制の充実) ③ 居住資源の充実 ④ 社会資源の普及啓発 ⑤ 地域移行支援の見える化 (地域状況の理解)</p>
<p>実施 経過</p>	<p>部会                      6回開催 (4/書面開催、6/17、8/19、10/21、12/16、2/17 オンライン) 事務局会議            7回開催 (4/書面開催、6/3、7/8、9/9、11/11、1/13 オンライン、3/24 予定)</p>
<p>取組 実績</p>	<p>① 4つのワーキンググループに分かれ、下記の取組を行った。また、新型コロナウイルスの影響により、イベント開催は見合わせた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>連携チーム</u> 医療機関、地域関係機関、ピアサポーターにより連携に関して検討。意見交換会は中止とした。</li> <li>・ <u>人材育成チーム</u> 初めて支援に取組む相談支援センターによる支援実施と事例検討、個別給付申請に関する手続きの確認。報告会の開催は中止とした。</li> <li>・ <u>居住支援チーム</u> 「別冊不動産事業者・家主向け『住宅確保要配慮者』居住支援ガイドブック 精神障害者の受け入れのポイント・事例集」を活用した、不動産業者を交えた意見交換会の開催。</li> <li>・ <u>社会資源チーム</u> 社会資源の普及啓発に向けたハッピーツアー (社会資源見学ツアー) の普及、引き継ぎ方法の検討。ハッピーツアーは中止とした。</li> </ul> <p>② 地域移行支援の見える化のためのアンケート調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域移行支援対象者実態調査 (医療機関向け)」、「川崎市における精神障害者地域移行・地域定着支援に関するアンケート調査 (相談支援センター向け)」の実施。</li> </ul>
<p>実施 結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連携チームによる意見交換会は中止となったが、定期的な開催の必要性を感じた。</li> <li>・ 不動産業者との意見交換会において、不動産業者との見解の解離について認識することが出来た。⇒次年度以降協議を継続</li> <li>・ 個別ケースを支援することで、地域移行のモデルケース支援を共有できた。また構築支援事業の協議の場として活用できた。⇒人材育成は継続していきたい</li> <li>・ ハッピーツアーについて、有効だが他機関への引継について検討していきたい</li> </ul>

## 令和2年度川崎市地域自立支援協議会人材育成部会 実施報告書

<b>課題</b> <b>※部会設置</b> <b>の理由</b>	<p>○国の動向を踏まえた相談支援従事者の質の向上や人材育成</p> <p>・川崎市における相談支援従事者人材育成カリキュラムの整理はできたが、実践としてどう質をあげていくか、研修と地域における人材育成（OJT）が明確ではない</p>
<b>目標</b>	<p>○相談支援従事者の質の向上・確保を目指す</p> <p>国の動向に留意しつつ、川崎市における相談支援専門員の人材育成のあり方や基本的な方向性を検討する。</p> <p>○川崎市で求められる相談支援従事者としての役割の実践を具体化する</p> <p>川崎市における相談支援従事者人材育成カリキュラムで明らかにした役割について、地域での実践方法などについて検討する。</p>
<b>実施</b> <b>経過</b>	<p>部会 7回開催（7/31、8/28、9/25、10/23、11/20、12/25、1/22◆、3/26◆）</p> <p>事務局会議 8回開催（7/22、8/19、11/6、12/8、1/15◇、2/5◇、2/16◇、2/22◇）</p> <p>雑談Caféモデル実施 2回開催（2/22◇、3/16◇）</p> <p style="text-align: center;">※◇：オンライン形式 ◆：書面開催 令和3年3月1日時点、予定含む</p>
<b>取組</b> <b>実績</b>	<p>○「川崎市における相談支援従事者人材育成カリキュラム」の改訂</p> <p>地域における人材育成について新たに記載した。また、国の研修カリキュラム変更に伴い障害者相談支援従事者初任者研修・現任者研修について修正、主任相談支援専門員研修（国）を追加した。</p> <p>○地域における人材育成の具体的取組について検討、「雑談Cafe」のモデル実施</p> <p>市内の相談支援従事者の声やこれまでの検討経過を踏まえて、不安感や孤立感の軽減、自信の向上を図ることを目的にした「雑談Cafe」をモデル的に実施した。（神奈川県立保健福祉大学行実研究室と共同実施）</p>
<b>実施</b> <b>結果</b>	<p>○川崎市における相談支援従事者の人材育成のあり方を文言化するとともに、地域における人材育成の具体的取組として「雑談Cafe」をモデル実施することができた。</p> <p>○今後は市の相談支援体制の状況を踏まえて、地域における相談支援従事者の質の向上や人材育成に関する取組の検討を行う必要がある。</p> <p>○雑談Cafeについては、基幹相談支援センター等が実施することを想定して開催ノウハウをまとめる予定。</p>

## 令和2年度川崎市地域自立支援協議会計画相談支援部会 実施報告書

<p><b>課題</b> ※部会設置の理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 川崎市では、令和3年度から障害福祉サービス利用者に対する相談支援のあり方を見直す予定となっている。</li> <li>○ 計画相談支援については、サービス等利用計画様式や運用を一部見直すほか、令和3年4月に国の報酬改定も実施されることから、指定特定相談支援事業所への周知が必要。 また、新たに事業所・施設による代替的サービス等利用計画作成支援（以下、「サポートプラン」とする。）の仕組みを導入する予定であり、その担い手である障害福祉サービス事業所・障害者支援施設への周知が必要。</li> </ul>
<p><b>目標</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計画相談支援を必要とする全ての方に、質の高い計画相談支援を提供する。 サポートプラン利用者が適切なサービス等利用計画を作成できるよう、必要な支援を提供する。</li> </ul>
<p><b>実施経過</b></p>	<p>部会 4回開催 10/30、11/16、2/4 (オンライン形式)、3/15 (オンライン形式)</p>
<p><b>取組実績</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成30年度に市地域自立支援協議会で作成、令和元年度に改訂した指定特定相談支援事業所向け「計画相談支援の手引き」の改訂作業を行った。</li> <li>○ 障害者支援施設・障害福祉サービス事業所向け「事業所・施設による代替的サービス等利用計画作成支援（サポートプラン）マニュアル Ver. 0.90」を作成した。</li> </ul>
<p><b>実施結果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「計画相談支援の手引き」の改訂作業を行ったが、令和3年4月からサービス等利用計画様式や運用を一部見直すほか、国の報酬改定も実施されることから、その内容を反映させることが必要。</li> <li>○ 「事業所・施設による代替的サービス等利用計画作成支援（サポートプラン）マニュアル Ver. 0.90」を作成したが、令和3年10月の運用開始に向けてマニュアルの修正が必要。</li> </ul>